「自然公園等に関するアンケート」リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

大阪府域及びその周辺には、優れた自然風景地として指定されている自然公園がいくつもあり、自然環境を保護するとともに、子どもから年配者、自然愛好家など、幅広く誰もが自然に親しみ、楽しむことをめざして整備されてきた。しかしながら、公園利用のための各施設（公衆トイレ、ビジターセンターなど）の老朽化が進み、また一方で、ランナー（トレイルランニングなど）や利用者のニーズの拡大など、利用面での課題も顕在化している。厳しい財政状況下、持続可能な維持管理を改めて検討していくため、府民の自然公園に関する意識や行動を把握する。

1. 調査仮説

仮説１　家族構成・年代・居住地によって、自然公園の関心（認知や利用経験）に差がある

仮説２　利用経験がある人・頻度が高い人ほど、歩道や橋、トイレ施設の整備状態が悪いと

感じており、施設維持等の取組が重要だと感じている。

仮説３　利用経験がある人・頻度が高い人ほど、金銭的負担があっても、安全・安心面や衛生や休息施設、教育的利用等の維持・整備の必要性を感じている

1. 公園利用や自然に関心のある（この1年で出かけた人）府民1,000サンプル
2. 質問項目

予備質問２問

本質問　１８問

＜予備質問＞

SC１　市町村

SC２　この１年で自然と触れ合う場にでかけたことがあるか（MA）（登山・山歩き、ハイキング、キャンプ、海水浴、川や池での水遊び、トレイルラン、森林浴、都市公園や自然公園の散策、動・植物の鑑賞、（ない人、海水浴のみの人→終了）

＜本質問　19問＞

1. 前問の場所にこの1年間に出かけた頻度(ＳＡ)
2. 前問の場所に誰とでかけたか(ＭＡ)
3. 国定公園・府立自然公園の認知・利用の有無（表組）
4. 府民の森の認知・利用の有無（表組）
5. 自然歩道の認知・利用の有無（表組）
6. 【知っている人】知ったきっかけ(MA)
7. 自然公園等の印象（表組）
8. 【１か所以上行ったことがある人】利用頻度（表組）
9. 【１か所以上行ったことがある人】主な利用目的(MA)
10. 【1か所以上行ったことがある人】主な交通手段(SA)
11. 【名称だけ知っている人】行ったことがない理由(MA)
12. 【知らなかった人】自然公園に行ってみたいと思うか(表組)
13. 自然公園の維持の取組みついて(SA)
14. 【重要と思う人】前問の理由(MA)
15. 【重要と思う人】維持に費用負担してもいいもの(MA)(SA)
16. 府域以外の自然公園等の利用(ＳＡ)
17. 住まい環境(SA)
18. 【全員】家族構成(SA)
19. 【全員】自由意見
20. 検証方法

仮説１　性年代、Ｑ17、Ｑ18×Ｑ３～５

仮説２　Ｑ８×Ｑ７、Ｑ13

仮説３　Ｑ８×Ｑ15